



天白小学校だより

松阪市立天白小学校 令和8年7月14日（火）NO.6

校長 橋本恵美子

天白っ子の素敵な姿

子どもたちは掃除の時間、教室や廊下がきれいになるまで、ほうきではいたり雑巾で拭いたりしながら、一生懸命取り組んでいます。その中で、上級生が1年生に掃除の仕方を優しく教えている姿をよく見かけます。



先日も、ほうきの使い方を丁寧に教えている上級生がいたので、「やさしく教えてくれてありがとう。」と声をかけました。すると、その子は少し照れたように笑いながら、「私も1年生のとき、こうやって教えてもらったから。」と話してくれました。その表情はどこかうれしそうで、当時のことを思い出しているようでした。

上級生から下級生へと受け継がれていく優しさや思いやりは、本校の素敵な伝統の一つです。教えてもらった経験が、今度は教える側の行動につながっていることをうれしく感じました。これからも、子どもたちがお互いを思いやりながら成長していく姿を大切に見守っていきたいと思います。

夏休みを安全に過ごすために

学校では、一人一台端末を学習に活用しています。しかし、残念なことに授業中に学習と関係のないゲームを利用したり、勝手にアプリを入れたりする様子が見られます。

学校で貸与しているタブレットは、学習のための道具です。授業中は、学校で指定した学習教材のみを使用するよう指導しています。また、自分で検索してゲームや学習に必要なアプリ等を入れることは認めていません。

夏休み中につきましても、タブレットの使用は学年で指定した学習教材の利用に限ります。YouTubeなどの動画視聴や、学習以外を目的とした検索、ゲーム等の利用はしないよう、ご家庭でもお声がけをお願いいたします。子どもたちが安全に、そして学習に集中して端末を活用できるよう、学校と家庭が同じ方向で指導していきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いいたします。



便利な道具だからこそ、正しく使う力を身に付けることが大切です。夏休みを機会に、ご家庭でもタブレットの使い方について話し合っただけければ幸いです。